

付篇 1 2002年度熊本大学埋蔵文化財保護対策組織

1. 熊本大学埋蔵文化財調査委員会規則（H14. 1. 24～）

（設置）

第1条 熊本大学（熊本大学医療技術短期大学部を含む。以下「本学」という。）に、熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（任務）

第2条 委員会は、本学の施設整備に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する重要事項を調査審議する。

（組織）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 各学部、大学院自然科学研究科、医学部附属病院及び医療技術短期大学部から選出された教授又は助教授 各1人
- (2) 事務局長
- (3) 埋蔵文化財調査室長
- (4) その他委員会が必要と認めた者 若干人

2 前項第1号及び第4号の委員は、学長が委嘱する。

3 第1項第1号及び第4号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 第1項第1号及び第4号の委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前項の規定にかかわらず、前任者の残任期間とする。

（委員長）

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選によって定める。

2 委員長は、委員会を召集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

（議事）

第5条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ議事を開き、議決をすることができない。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（意見の聴取）

第6条 委員長は、必要があるときは、委員以外の者を出席させ意見を聴くことができる。

（調査室）

第7条 委員会に、埋蔵文化財の発掘調査に関する業務を行うため、埋蔵文化財調査室（以下「調査室」という。）を置く。

2 調査室の業務、組織その他必要な事項については、別に定める。

（事務）

第8条 委員会の事務は、施設部企画課において処理する。

（雑則）

第9条 この規定が定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

1 この規則は、平成14年1月24日から施行する。

2 この規則施行の際、現に改正前の規則第3条第1項第1号から第4号まで及び第7号の規定により選出されている委員は、改正後の規則第3条第1項第1号の規定により選出されたものとみなす。

3 この規則施行後、最初に選出される第3条第1項第4号の委員の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成15年3月31日までとする。

2. 熊本大学埋蔵文化財調査室要項

(趣 旨)

第1条 この要項は、熊本大学埋蔵文化財調査委員会規則第8条第2項の規定に基づき、熊本大学埋蔵文化財調査室（以下「調査室」という。）の業務、組織その他必要な事項について定める。

(業 務)

第2条 調査室は、熊本大学（熊本大学医療技術短期大学部を含む。以下「本学」という。）の施設整備に関する次の業務を行う。

- (1) 実施計画の立案及び実施に関すること。
- (2) 出土した埋蔵文化財の整理、保管及び保存に関すること。
- (3) 文化庁等に提出する報告書の作成に関すること。
- (4) その他必要な事項

(組 織)

第3条 調査室に室長を置く。

- 2 室長は、調査室に関する業務を掌理する。
- 3 調査室に調査員その他必要な職員を置くことができる。
- 4 調査員は発掘調査に関する業務を行う。

(室長等の任命)

第4条 室長及び調査員は、本学の教官のうちから学長が任命する。

2 学長は、必要がある場合は、学外の者を調査員に委嘱することができる。

(事 務)

第5条 調査室の事務は、関係学部等の協力を得て、施設部企画課において処理する。

(雑 則)

第6条 この要項に定めるもののほか、調査室の運営に必要な事項は、熊本大学埋蔵文化財調査委員会が定める。

附 則

この要項は、平成12年4月1日から実施する。

3. 2003年度熊本大学埋蔵文化財保護対策組織

1 埋蔵文化財調査室組織（2003年4月1日現在）

<室長>	(併・文学部教授)	甲元 真之
<調査員>	(併・文学部助教授)	小畑 弘己
	(併・文学部助手)	大坪 志子
<事務補佐員>		坂元 紀乃
<室内作業員> (2003年11月～2004年2月)		溜淵 俊子
		林田 恵子
		早田咲百合

2 埋蔵文化財調査委員会

委員長	北野 隆 (熊本大学工学部教授)	任期 (2003. 4. 1～2005. 3. 31)
委員	杉井 健 (文学部助教授)	(2003. 4. 1～2005. 3. 31)
	春田 直紀 (教育学部助教授)	(2003. 4. 1～2005. 3. 31)
	大久保憲章 (法学部教授)	(2003. 4. 1～2005. 3. 31)

吉田 昌文 (理学部助教授)	(2003. 4. 1~2005. 3. 31)
小川 尚 (医学部教授)	(2003. 4. 1~2005. 3. 31)
今村 順茂 (薬学部助教授)	(2003. 4. 1~2005. 3. 31)
土亀 直俊 (附属病院助教授)	(2003. 4. 1~2005. 3. 31)
蔦川 忠久 (医技短大部教授)	(2003. 4. 1~2005. 3. 31)
伊藤 重剛 (大学院自然科学研究科助教授)	(2003. 4. 1~2005. 3. 31)
長木 正治 (事務局長)	(2001. 7. 1~)
甲元 眞之 (埋蔵文化財調査室長)	(1994. 5. 16~)

審議事項

2003年4月21日	委員長選出 第15回埋蔵文化財調査委員会議事録確認 2003年度共通経費要求について 2003年度埋蔵文化財発掘調査予定(案)について 2003年度教官流用と平成16年度教官流用の申請について 2002年度埋蔵文化財発掘調査結果について その他
2003年10月15日	第16回埋蔵文化財調査委員会議事録確認 2003年度埋蔵文化財発掘調査予定(案)について 法人化後の埋蔵文化財調査委員会規則の改正について その他

付篇 2 埋蔵文化財調査室2003年度調査・研究活動記録

1. 個人活動

【室長】

甲元眞之

- ・平成15～18年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(A)(1) 海外学術調査 研究代表者「極東地域における前期完新世の環境変化と生業システムの適応に関する研究」
- ・平成15～18年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(A)(1) 海外学術調査 研究代表者「中国・中原地域出土古人骨の人類学的研究」分担研究者
- ・平成15年度 学内拠点形成研究B「世界的文化資源集積と文化資源科学の構築」分担研究者
- ・平成13～15年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(B)(2)「先史・古代九州出土植物遺存体の実証的研究」研究代表者
- ・平成13～16年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(A)(2)「中国・琉球列島間のタカラガイの需要・供給に関する実証的研究」分担研究者
- ・平成14～17年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(A)「琉球列島における農耕社会成立過程の解明に向けた実証的研究」分担研究者
- ・平成14～15年度 社会文化科学研究科プロジェクト研究 代表「九州先史時代の年代決定研究」

【調査員】

小畑弘己

- ・平成15年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)「極東および環日本海地域における更新世末～完新世の狩猟道具の変遷研究」研究代表者
- ・平成15年度 平和中島財団 アジア重点学術研究助成「中部更新世～完新世初期の日韓石器文化の基礎的研究」研究

代表者

- ・平成15年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (B)「先史・古代九州出土植物遺存体の実証的研究」分担研究者
- ・平成15年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (A) 海外学術調査「極東地域における前期完新世の環境変化と生業システムの適応に関する研究」研究分担者
- ・平成15年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (A)「琉球列島における農耕社会成立課程に向けた実証的研究」研究分担者
- ・平成15年度 文部科学省特定領域研究「中世考古学の総合的研究－学融合を目指した新領域創生」研究分担者
上記研究にかかわる調査・研究の実施

石器原産地研究会第3回研究集会(2003年7月5・6日大分県姫島村)開催

大坪志子

- ・大矢野町史編纂事業：大矢野町小波戸遺跡発掘調査
- ・平成13～15年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (B)「先史・古代九州出土植物遺存の実証的研究」分担研究者
上記に係わる研究・調査・報告書作成